

東証一部（証券コード 6848）

個人投資家様向け 会社説明会

東亜ディーケーケー株式会社
代表取締役社長 高橋 俊夫

2021年7月16日

1. 会社概要

2. 主要マーケット

3. 2021年度の取り組み、株主還元等

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

1. 会社概要

2. 主要マーケット

3. 2021年度の取り組み、株主還元等

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します。

設立

1944年9月

資本金

18億4,248万1千円

連結売上高

159億円（2020年度通期）

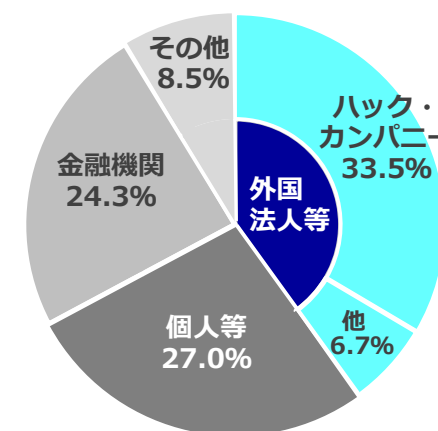
従業員数

連結571名
（2021年3月末現在）

連結子会社

国内4社
（主に製造とサービス）

株主構成



（2021年3月末現在）

事業内容

計測機器事業および不動産賃貸事業

- 計測機器（環境・プロセス分析機器、科学分析機器）の製造、販売
- 医療関連機器の製造、販売
- 計測機器の部品・消耗品の販売
- 計測機器のメンテナンス・修理
- 不動産賃貸事業

「水・大気・医療・ガス」分野の計測機器メーカー TOA DKK

会社



2000年
東亜電波
工業と電
気化学計
器が合併



2005年
ハック社
と提携



2010年
開発研究
センター
完成



2013年
東証一部
に上場



2017年
医療関連
機器生産
棟完成

事業



2002年
第5次水質総量規制
にいち早く対応した
「全窒素・全りん／
COD自動測定装置」



2008年
端末監視で国内トッ
プの座を確立した
「水道水用水質自動
測定装置」



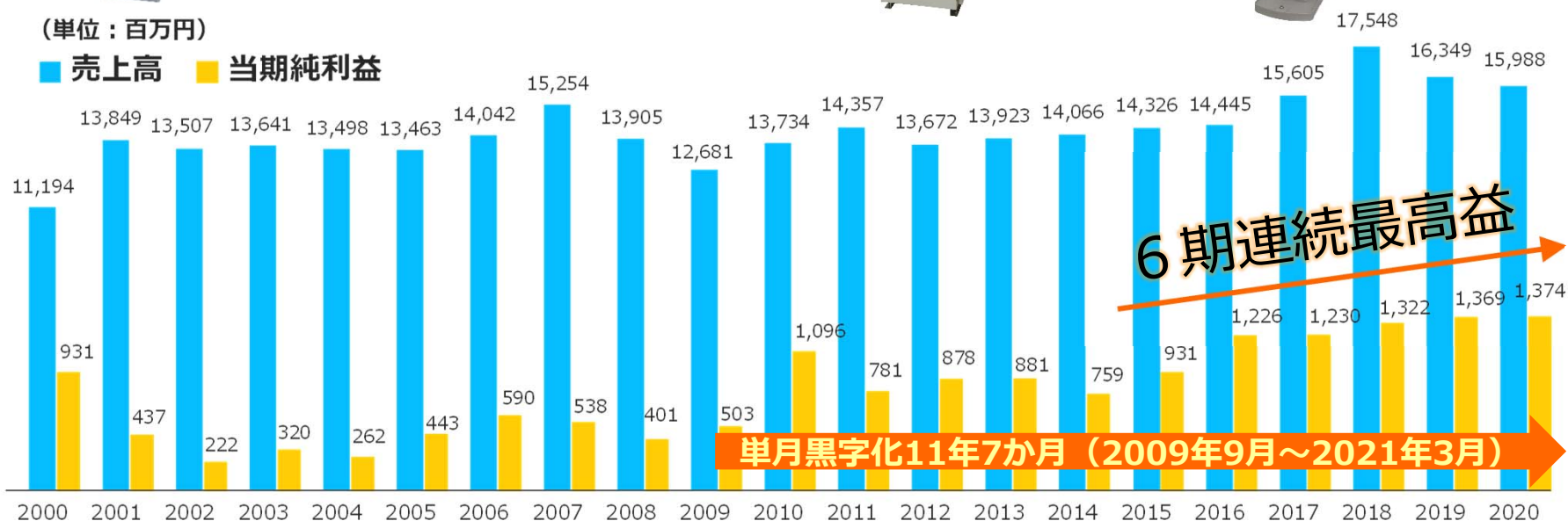
2009年
PM2.5の環境基準が
制定され、国内トッ
プシェアを獲得した
「微小粒子状物質
自動測定装置」



2018年
メタウォーター社
より水道水水質計
事業を譲受

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 当期純利益



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 公的機関はじめ、幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制

水		大気	医療	ガス
環境・プロセス分析機器			医療関連機器	産業用ガス検知警報器
 水道水用水質自動測定装置		 PM2.5測定装置 国内シェアNO.1	 透析用薬剤溶解装置	 ケミルミアルシン計
 pH計	 電気伝導率計	 油膜検知器	 エンドトキシン計	
科学分析機器				
 ラボ用水質計	 ポータブル用水質計			



あらゆる分野の水質管理をサポート



工場

pH計

食品・化学・石油精製
関連施設等の生産・品質
管理プロセスに導入



河川・海

全窒素・全りん/ COD自動測定器

工場排水等による
水質汚濁を常時監視



家庭

水道水用水質 自動測定装置

水道水の水質を
常時監視



★★★
ヒット商品!
停電時は
72時間対応

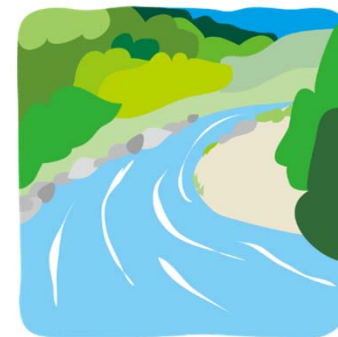
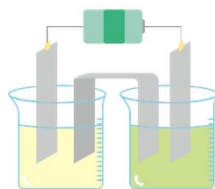
インフラ

pH計、濁度計、 残留塩素計

浄水場や発電所での
水質管理に導入



水 ラボやフィールドでの水質測定



ラボ用分析機器

- ☞ 卓上型、簡単操作、高精度な測定
- ☞ 大学や試験研究機関での化学分析や生産ラインの品質管理など様々な分野での水質分析に使用

ポータブル分析計

- ☞ 小型・軽量・省電力・防水設計
- ☞ 製造工程の水質管理や排水の監視、川・湖での環境監視のため、現場での簡易測定に使用



マルチ水質計
(Xシリーズ)



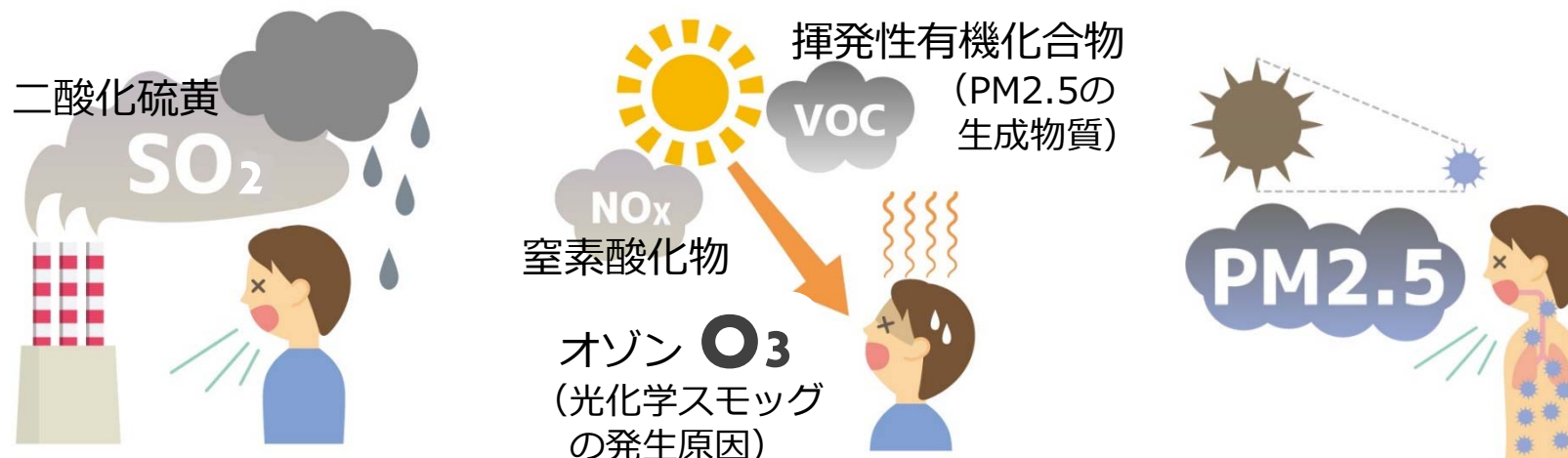
新型イオン
クロマトグラフ



水質計
(P40シリーズ)



蛍光式溶存酸素計



環境用大気測定装置

環境省や自治体の大気汚染測定局に設置され、PM2.5やSO₂などの濃度を連続的に監視



環境大気移動測定車



国内シェア

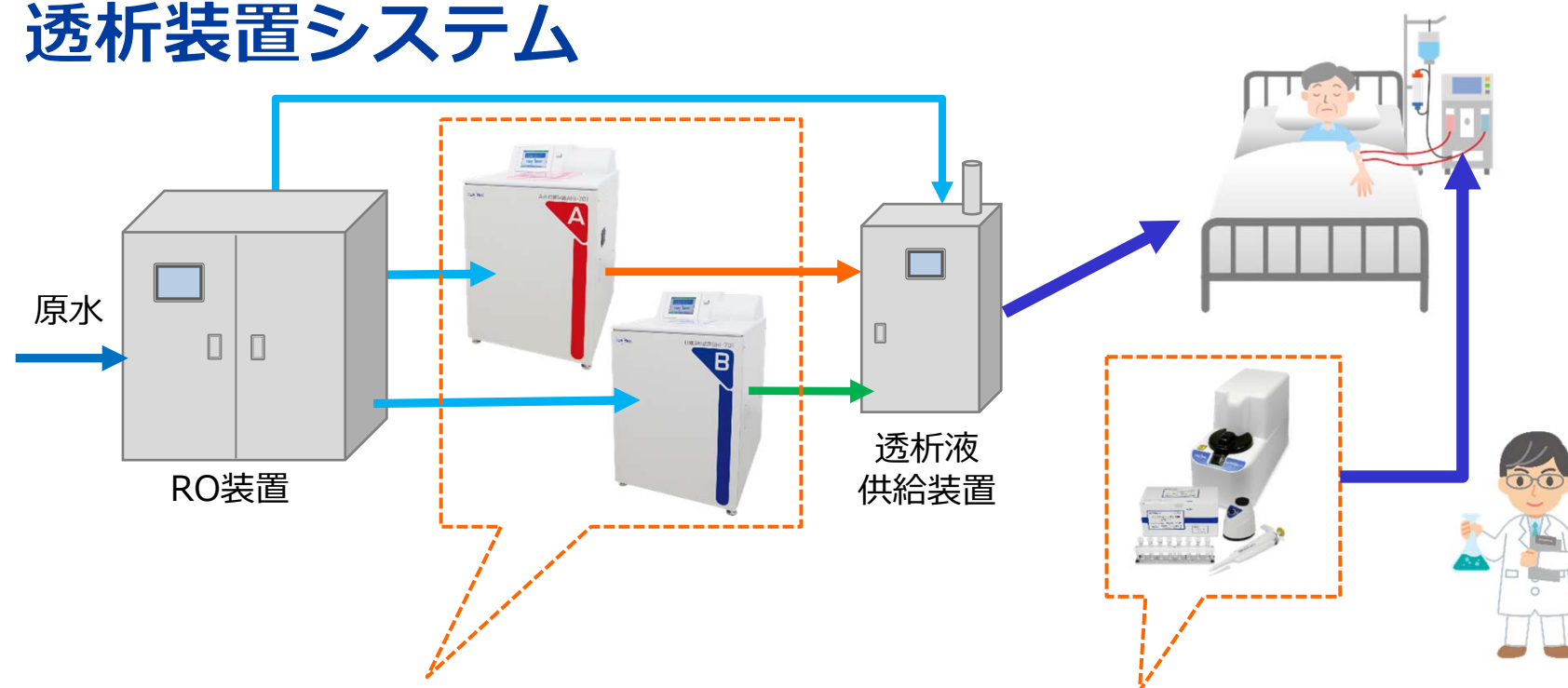


PM2.5
測定装置



大気SO₂SPM
測定装置

透析装置システム



透析用粉末用剤溶解装置
(A剤・B剤溶解装置)

センサ技術で粉末剤を一定濃度
に溶解し、透析原液を安定供給

エンドトキシン計

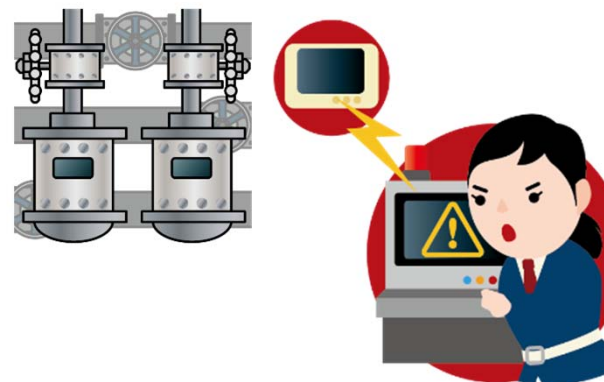
透析液および透析用水を管理
する 測定器

最大70床までの供給が可能



排ガス分析計

ごみ焼却施設や各種工場からの排ガスに含まれる大気汚染物質濃度を測定



ガス検知警報器

半導体工場など製造工程で使用する危険なガスの漏洩を検知し警報



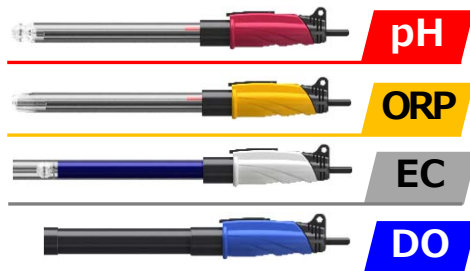
排ガス測定装置



ケミルミアルシン計
(毒性ガス検知警報器)

電極・標準液

環境・プロセス分析機器、
科学分析機器などの補用品類



電極

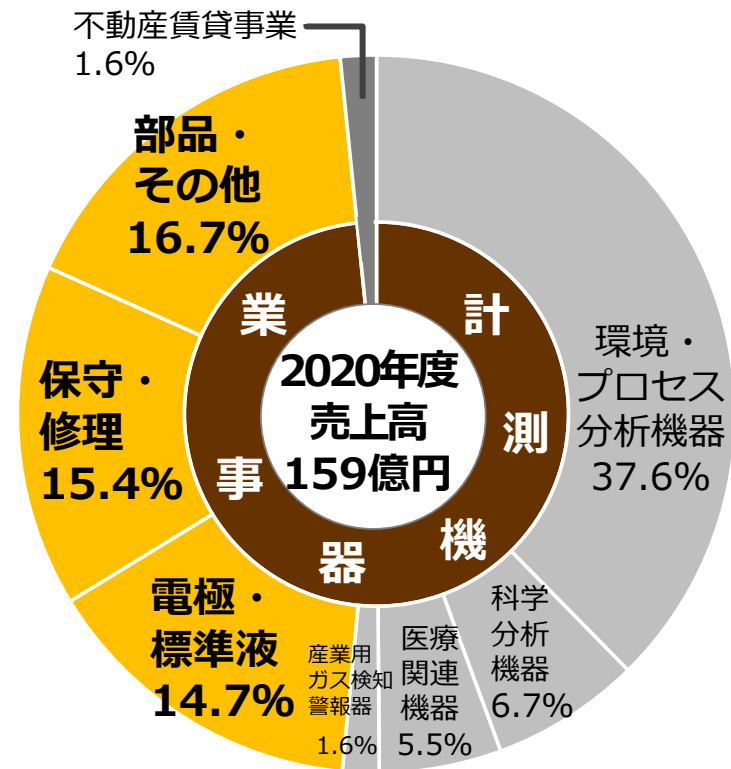


pH標準液

保守・修理

現地調整・定期点検および
修理、補用パーツ等

部品・その他



計測機器事業

保守・補用品
46.9%



装置・機器販売
51.5%



1. 会社概要

2. 主要マーケット

3. 2021年度の取り組み、 株主還元等

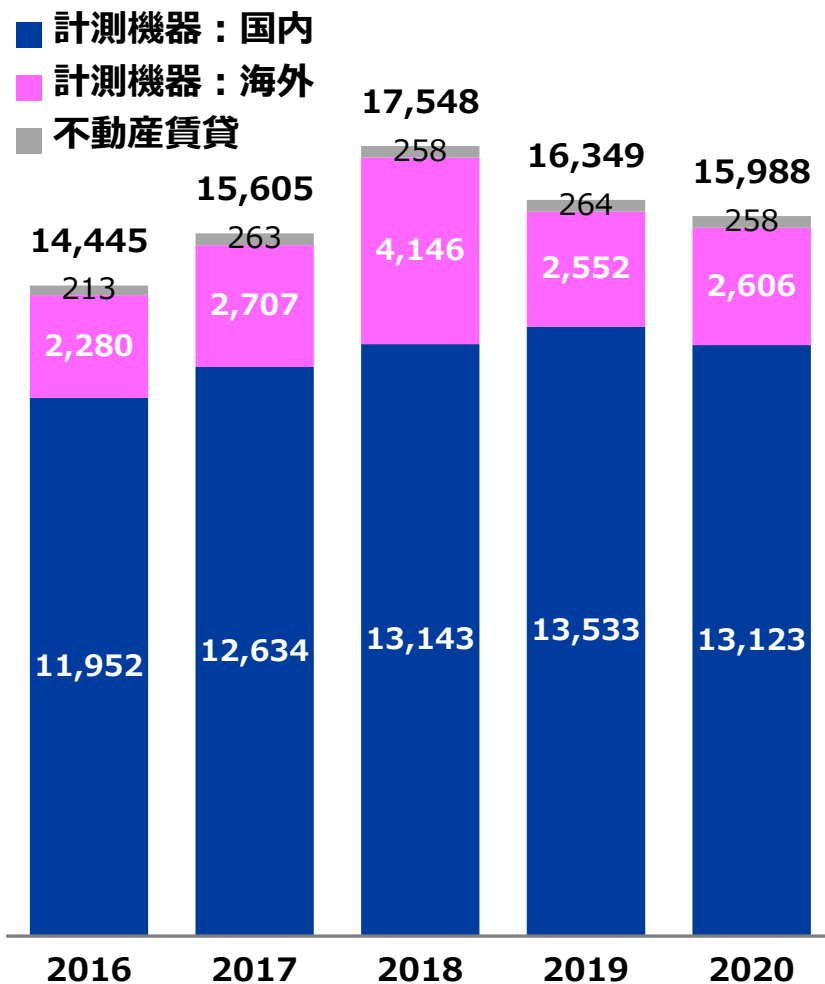
注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

国別売上高推移

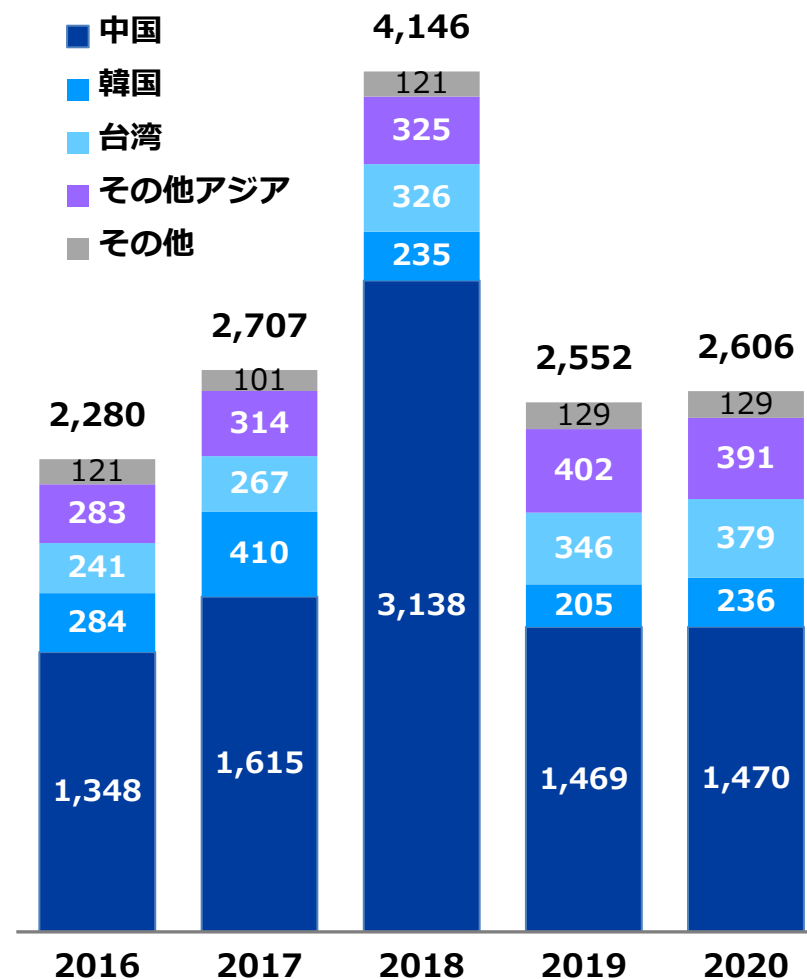


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高



営業拠点：11か所

代理店・特約店：79社（拠点：229か所）

※2021年6月末時点

- 本社
- 営業拠点
- 事業所
- ▲ 連結子会社



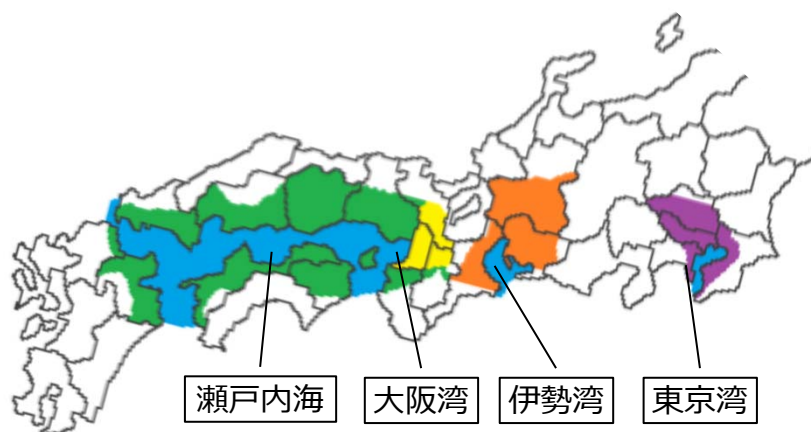
第5次水質総量規制*の更新需要に対応

* 閉鎖海域で排出される有機汚濁物質の総量を規制する制度。

第5次水質総量規制では、従来のCOD（化学的酸素要求量）に加え、新たに窒素・りんが規制の対象となった。

適用日：2002年10月1日、 目標年度：2004年度

水質総量規制の指定水域および指定地域



主な環境用水質分析計



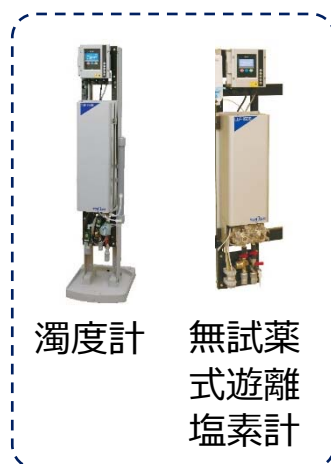
<国内> 水道事業の広域化・民間委託化



水使用量の減少
設備の老朽化
職員の高齢化

施設・重複部門の統廃合や
スケールメリットによる
運営コスト削減

水道用水質計の品揃え拡充



濁度計
無試薬式遊離塩素計

既存の上水用
分析計（例）

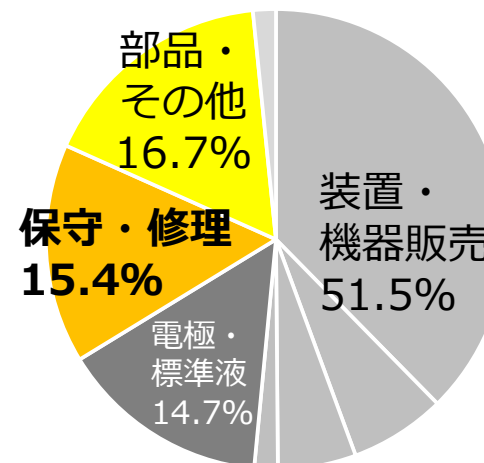


高感度濁度計
卓上型ハイブリッド微粒子計

メタウォーター社から
譲り受けた分析計（例）

アフタービジネス拡大

全国の直系サービス会社による
定期点検や長期保守



当社海外代理店は17か国に31社 (欧米含む)



海外への販売実績：40 か国 (2020年度実績)



安全でおいしい水
上下水道用分析計



水道水の品質管理(韓国等)
海水淡水化プラントの水質測定(UAE等)



水質汚染の監視
環境用水質分析計



河川や工場排水のモニタリング
(中国、ベトナム、インドネシア等)



大気汚染の監視
環境用大気測定装置



大気汚染物質を測定
(インド、セルビア等)

<海外>



中国の環境規制

TOA DKK

水

河川の水質汚染 規制に向け拡販

- ・排水モニタリング装置で
国家認証を取得し現地生産
- ・HACH（ハック）CHINAと
共同で拡販



中国環境保護
製品認証



全窒素・全りん
自動測定器

大気

環境大気計測 市場への参入

- ・VOC※測定装置の国家認証試験中
- ・中国の提携会社と協業で販売

※揮発性有機化合物
(PM2.5の生成物質)



ポータブル
VOC測定器

オンライン
VOC測定装置



<海外>



韓国環境大気計測市場

TOA DKK



PM2.5測定装置が地下鉄駅構内や国際空港で新規採用



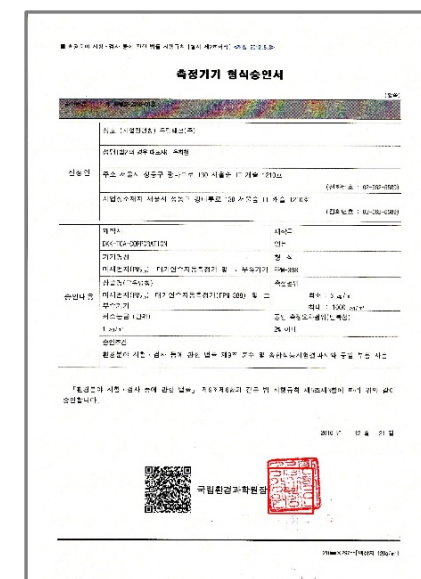
国内
シェア
No.1



地下鉄駅構内 9 か所



仁川国際空港



韓国対応モデルの
国家認証書

<海外>



インドの環境大気計測市場

TOA DKK

大気

設置が進む測定局に 環境用大気測定装置を拡販

二酸化硫黄 (SO_2)、窒素酸化物 (NO_x)、
10 μm 以下の粒子状物質 (PM10) などを測定



環境大気モニタリングシステム



環境大気測定車

1. 会社概要
2. 主要マーケット
- 3. 2021年度の取り組み、株主還元等**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

2021年度通期計画



<国内>

新型コロナウイルス感染症の終息には不透明感があるものの、設備投資は回復基調が続くと予想し、eコマースの立ち上げなどデジタルマーケティングの推進やアフタービジネスの強化により拡販

<海外>

中国の既存・新規分野での拡販および東南アジアを中核とする売上拡大

(単位:百万円)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 計画	前期比増減	
				金額	率
売上高	16,349	15,988	16,700	711	+4.4%
営業利益 売上高比	1,834 11.2%	1,852 11.6%	2,000 12.0%	147	+8.0%
経常利益 売上高比	1,918 11.7%	1,907 11.9%	2,060 12.3%	152	+8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,369 8.4%	1,374 8.6%	1,440 8.6%	65	+4.8%

デジタルマーケティングの推進

デジタルセールスコンテンツ強化、eコマース立ち上げ



公式YouTubeチャンネル
取扱い説明動画

差別化

カスタマイズ品
大口案件等

営業員の提案営業

効率化

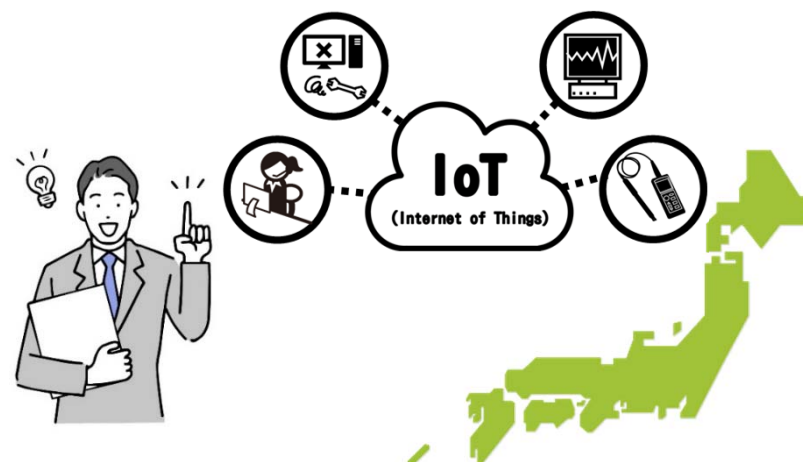
小型製品等

内勤営業員とEC

EC

アフタービジネスの強化

- ・ 機器更新／保守契約の提案強化
- ・ IoT活用で機器のリモート管理、サービス提供



環境保全（水・大気）

- 環境用水質分析計
（河川モニタリング等）
- 環境用大気分析計

環境用大気
測定装置



全窒素・
全りん
自動測定器



水道インフラ

- 水道水用分析計
- デジタルセンサ



デジタルセンサ



水道水用水質
自動測定装置

半導体製造・ 海水淡水化設備

- 基本プロセス計
- 排水用水質計

抵抗率計



濁度計



新分野 （医療など）

- 生化学センサ
- 脱炭素／新エネルギー
市場向け水質計

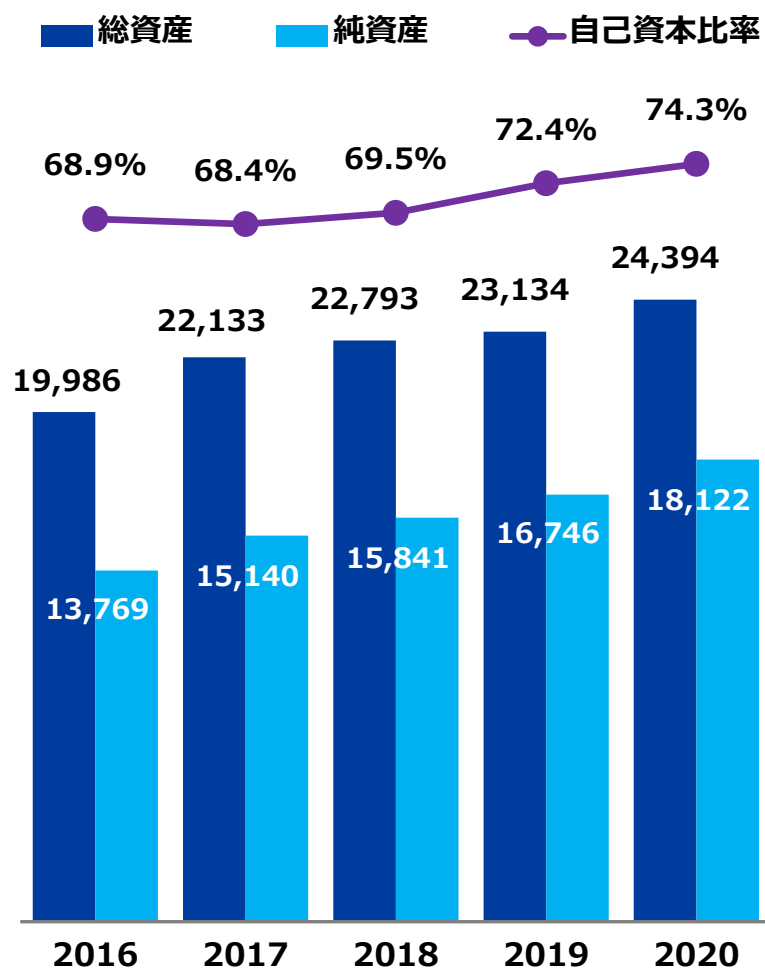


総資産/純資産/自己資本比率、ROE

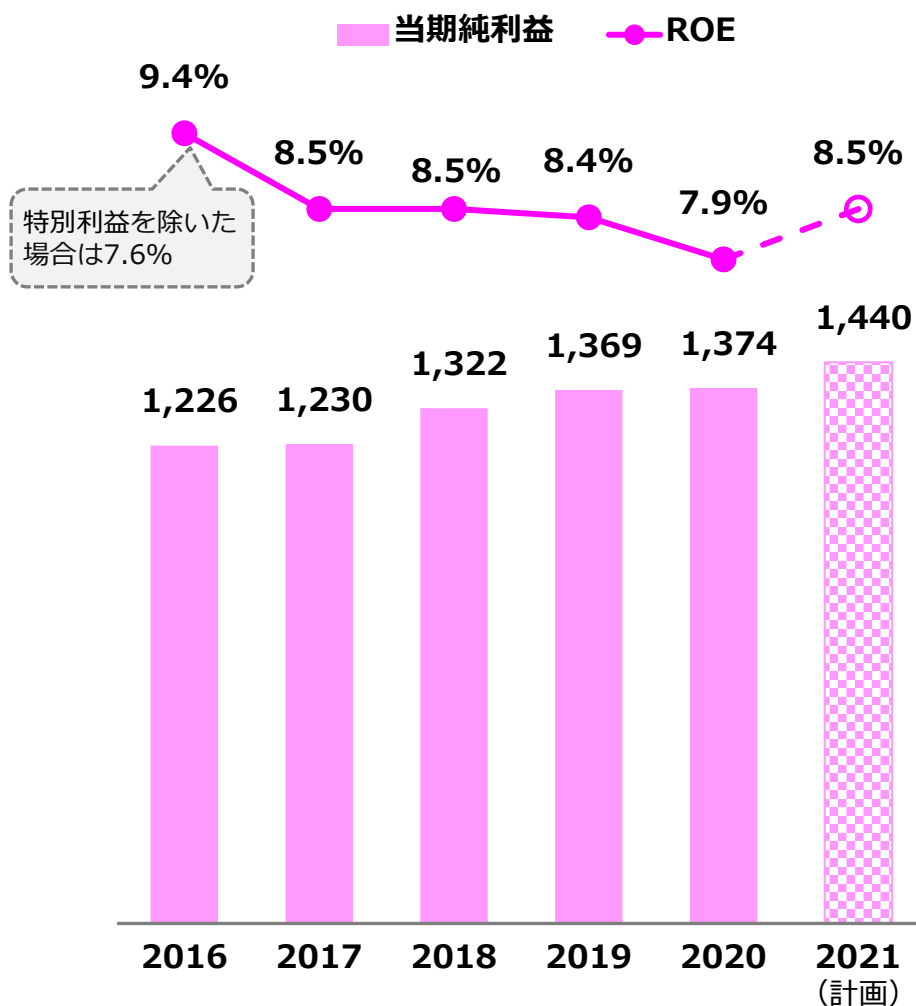


(単位:百万円)

総資産・純資産・自己資本比率



当期純利益・ROE





環境配慮

100%再生可能エネルギー由来電力に切り替え

2020年4月～ 本社を含む主要3事業場
2021年4月～ 山形東亜DKK、岩手東亜DKK



エコ梱包：FSC認証※ダンボール箱の使用など

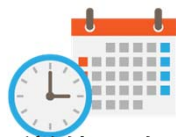
※適切に管理された森林の木材から作られた製品であることを証明する国際的認証制度

働きやすい職場

多様な働き方の実現



在宅勤務



時間単位の有給休暇

健康経営の推進

<「銀の認定」取得会社>
東亜ディーケーケー、山形東亜DKK、
岩手東亜DKK、バイオニクス機器



健康優良企業

社会貢献

当社製の次亜塩素酸ナトリウム活性水を寄付

消毒・除菌に
優れた効果を発揮

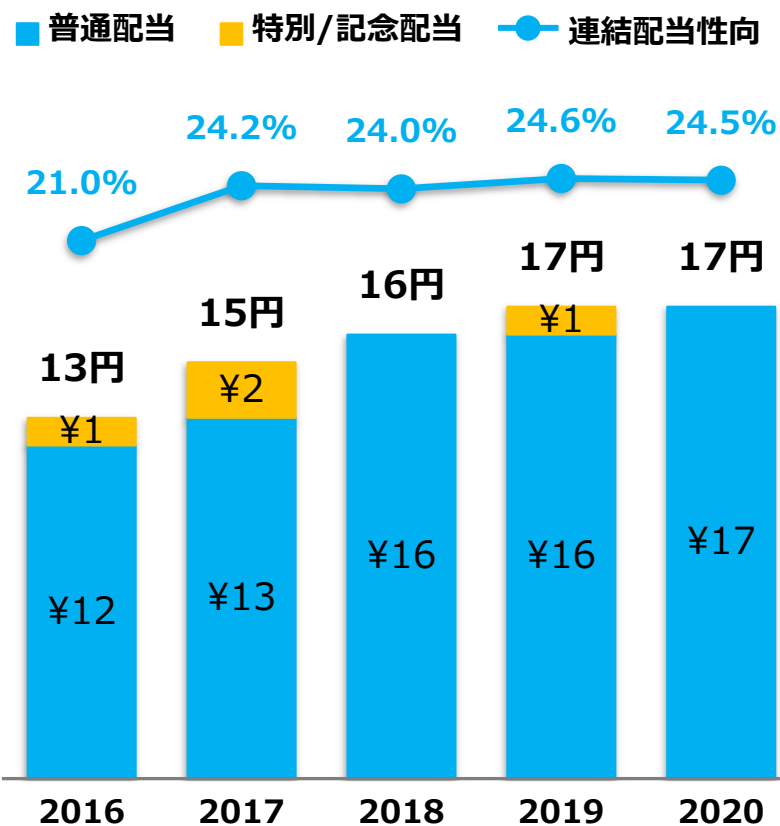


当社が製造・販売する
次亜塩素酸ナトリウム
活性化装置



業績に応じ安定的な配当を継続

一株当たり配当金推移



株主優待

毎年9月末現在の株主名簿に記載された株主さまに「緑の募金」付クオ・カードを進呈



所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオ・カード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオ・カード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオ・カード2,000円分

株価の推移



株価	単元株式数	必要投資金額	市場
824円（2021年7月1日終値）	100株	約9万円	東証1部



証券コード

6 8 4 8

$$6 \times 8 = 48$$

ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課
メール：ir@toadkk.co.jp